

APRICOT 2026

参加報告

東京工科大学 村田 航志

目次

- 自己紹介
- APRICOT 概要
- 参加したセッション
- 印象に残ったセッション
- APRICOT2026に参加してみても
- まとめ

自己紹介

- 名前: 村田 航志
- 所属: 東京工科大学
- 趣味: サークル, コミュニティでのAS運用

Wi-Fi構築のボランティア

- 海外は約7年ぶり



APRICOT 概要

APRICOTとは

- アジア太平洋地域のネットワークオペレーターのサミット
- APNOG(Asia Pacific Network Operation Group) によって運営

APRICOT 2026

- 開催地: インドネシア ジャカルタ グラナダシティホテル
- ホスト: APJII
- 開催日: 2026年2月4日-12日 ※自分が参加したのは8日-12日のみ

参加したセッション

- 2月8日
 - APRICOT Fellows Skills Workshop
- 2月9日
 - APRICOT Community & Newcomers Meeting
 - Opening Ceremony and Plenary
 - APNIC Global Reports
 - Policy 101 How Internet Number Resource Policies Are Made at APNIC
- 2月10日
 - APNIC Cooperation SIG
 - APNIC Panel Discussion
 - APNIC IPv6 deployment
 - NOG Reports
- 2月11日
 - Segment Routing a Tutorial Part1 , Part 2
 - APNIC Open Policy Meeting
 - APNIC NIR SIG
 - Closing Plenary
- 2月12日
 - APNIC AGM 1,2,3

印象に残ったセッション

APRICOT Fellow Skills Workshop

- APRICOT自体の紹介
- 英語でのスピーチの方法やボディーランゲージの仕方
- 実際に議論を行う(過去OPMで議論されていた議題について)

- 翻訳アプリ等を用いながらコミュニケーションは取れた
- 議論ではアプリを使っても会話についていけないタイミングも

印象に残ったセッション

APNIC Global Reports

- APNICや各RIRなどが現在の活動について報告
- ASO ACからはICP-2の改訂について紹介があった

- AFRINICの発表が特に印象に残った
 - 自分がインターネットガバナンスに興味を持ったきっかけ
 - AFRINICの理事が選挙により決まり3年ぶりに活動を再会

印象に残ったセッション

APNIC IPv6 Deployment

- アジア圏のIPv6の展開について紹介
- 中国 Xiong'an市でのIPv6オンリーネットワークの実装
 - IPv6ネットワークに衛星、道路、スマートホームを接続
 - デジタルツインシティを目指して、社会実装を続けている

印象に残ったセッション

APNIC Routing Security Sig

- ASPAの展開
 - LACNIC,ARIN,RIPEですすでにASPAの提供が始まっている
- LACNICのAS並びにIPアドレスの悪意のある不正広報
 - LOAベースの人による承認の廃止
 - ASPAの広域な展開が必要

APRICOTに参加してみて

- 海外の方々とインターネットの議論ができた
 - 初日の夜にInternetSocietyのソーシャルにAPNICのフェローの方々と参加
 - 各国の通信インフラに関する課題を共有し議論した
 - 改めて、日本のネットワーク技術力の高さを感じた
 - JICAなどのインフラ支援で感謝される場面も
- ルーティングセキュリティの最新の情報を入手できた
 - RoutingSecurySIGのLACNICの発表の様に悪意を持った経路の不正広報の手法を知れた
 - インターネットは人と人の関わりで成立してきた一方、それが脆弱なポイントになっていることがわかった。

まとめ

- 今回APRICOT2026に参加して、技術的な知見だけでなく、海外の方々やコミュニティに参加できた。
 - 今回でできた海外との繋がりを元に、交流を広げていきたい。
-
- 今回の支援プログラムを開催していただいたJPNIC様、スポンサーのJPIX様本当にありがとうございました。